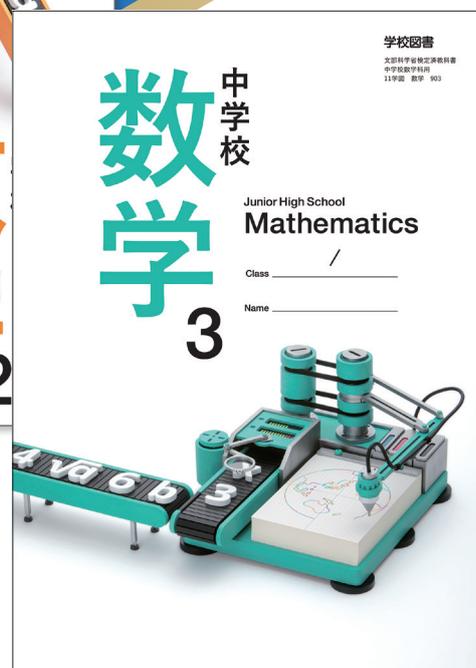
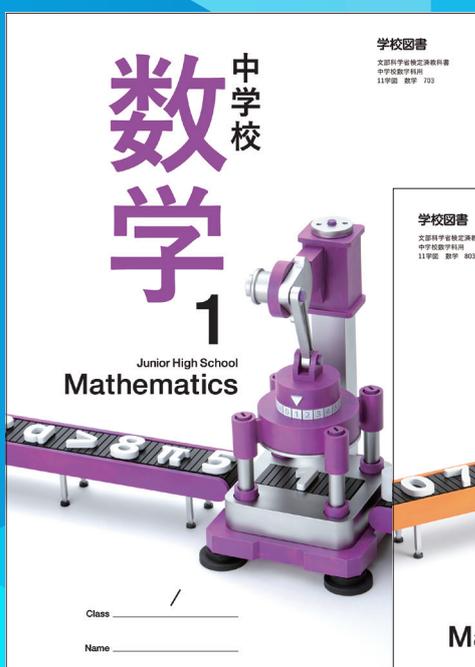


# 中学校 数学

指導者用 デジタル教科書『デジMATH』  
使用説明書 Ver.1.2.0



「指導者用 中学校数学 デジタル教科書『デジMATH』」をご購入いただき、  
まことにありがとうございます。

ご使用いただく前に本使用説明書をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。

## ◆ ◆ ◆ 目次 ◆ ◆ ◆

概要・動作環境・ご使用条件・仕様 .....	3
はじめにお読みください .....	4
紙面ページの操作 .....	5
ツール画面の説明 .....	6
基本機能ツールの説明 .....	7
ツールバーの説明 .....	10
数学固有ツールの説明 .....	25
タブリスト表示ボタンの説明 .....	30
画面切り替えタブの説明 .....	30
ひらくタブの説明 .....	31
環境設定の説明 .....	31
学習者支援機能について .....	32
学習者支援機能のツールバーについて .....	32
学習者支援の環境設定 .....	35

# 概要・動作環境・ご使用条件・仕様

## 概要

本ソフトウェアは富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市)【<https://www.fsi.co.jp/>】が開発・提供する「みらいスクールプラットフォーム」の表示部機能を用いています。

このデジタル教科書ビューアに設定された各種基本機能と弊社が独自に開発したアプリやコンテンツを用いて教科書紙面および、教材データを活用した学習展開ができるよう、設計・開発されています。

## 動作環境

- OS: Windows 8.1 / 10 / 11 (Windows パソコン以外にはインストールできません)
- CPU: インテル Core i3 1.9 GHz 以上
- メモリ: 各OS に必要とされるメモリ容量以上(4GB 以上推奨)
- ドライブ: DVD-ROM ドライブ以上
- モニタ解像度: 1280 × 720 以上
- 空き容量: 1学年あたり2GB程度の空き容量が必要(パソコンにコピーする場合)
- その他: 音声出力機能・機器(音声を再生する場合)  
サーバー(校内のサーバーに限定)使用の場合は、上記に加え以下の環境が必要です。  
Windows ブラウザ: Microsoft Edge・Google Chrome  
Chrome OS ブラウザ: Google Chrome  
iOS (iPad) ブラウザ: Safari

## ご使用条件

校内フリーライセンス(1学校内に限ります)

※学習者用端末でインストール又は通信による利用はできません。

※詳細な条件等は、DVDに収録されている「ソフトウェア使用規約」(全文)をご参照ください。

## 仕様

DVD-ROM 1枚

# はじめにお読みください

本製品は、高精細の教科書画像など、情報量の多いコンテンツを表示するため、パソコンにインストールしてご使用下さい。

## インストール方法

パソコンへのインストールは、DVD-ROMに収録されているファイル(GKT\_2021\_T\_J\_MATH\_1 Setup)をダブルクリックして、インストーラーのメッセージに従って作業を進めて下さい。

ファイル(GKT\_2021\_T\_J\_MATH\_1(~3)\_ Setup) ▶

数学  
1

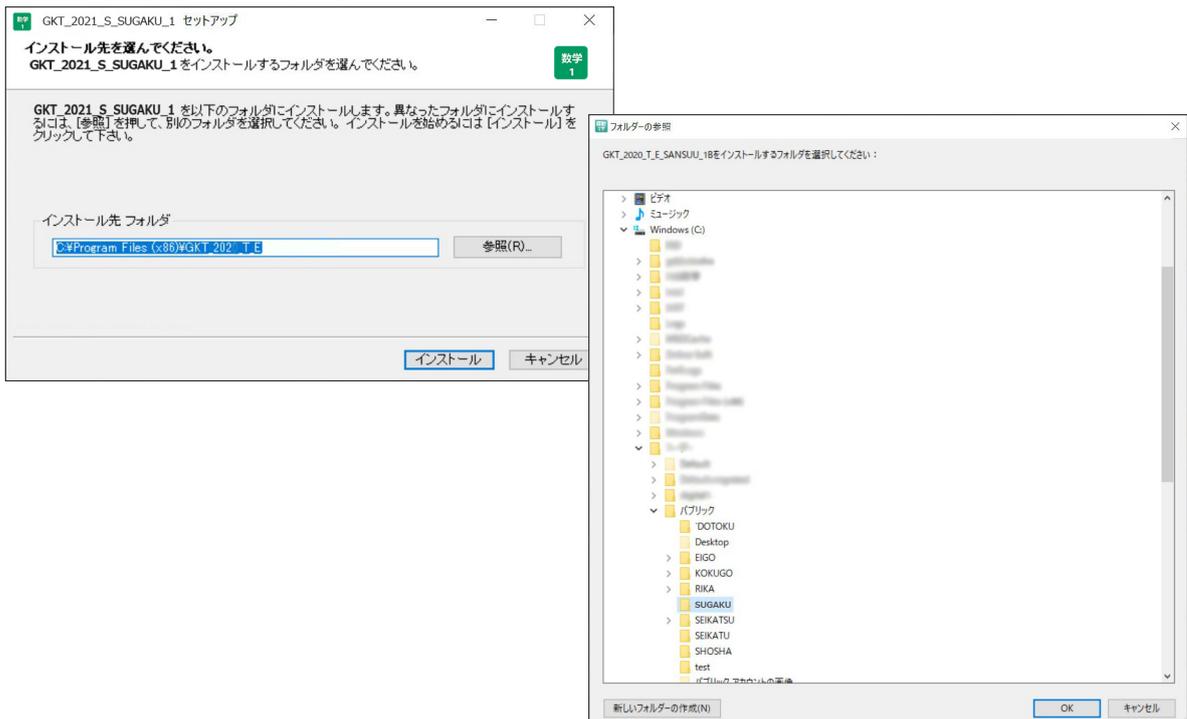
数学  
2

数学  
3

### ※インストール先について

インストールは通常WindowsのProgram Filesというフォルダへインストールされます。通常通りの場所にインストールすると、以下の機能が制限されます。

- ◆トリミングツール(p.16)を使用する場合はインストール先の変更が必要です。(インストール先の例→あらかじめCドライブの中に「数学」など任意のフォルダを作成します。C: ¥数学へインストール先を変更して「インストール」をクリックします。)



## 起動方法

本製品がインストールされたパソコン端末のデスクトップ上にあるファイル(GKT\_2021\_T\_J\_MATH\_1(3))をクリックすると以下のスタートメニュー画面が表示されます。

ファイル(GKT\_2021\_T\_J\_MATH\_1(~3)\_)▶



## スタートメニュー画面



- ① 教科書の最初ページを表示します。
- ② スタートメニュー画面を閉じ、本ソフトウェアを終了します。
- ③ 目次ページを表示します。
- ④ 前回表示していたページに移動します。前回までに書き込んだ描画情報なども表示されます。

# 紙面ページの操作

## マウスによる操作と指による操作について

本製品では一部を除き、マウスと指による両方の操作に対応しています。ただし、この使用説明書では、パソコン上で使うことを前提に、マウスによる操作方法をメインに解説しています。

## 指で行えない操作

紙面上で2本の指を広げたり(ピンチイン)、縮めたり(ピンチアウト)することで、紙面を拡大・縮小することが可能です。\*ピンチイン・ピンチアウト機能は、指で行うことはできず、マウスでは同様の操作を行うことはできません。

※タブレット型端末等のマルチ・タッチディスプレイ対応の機種に限ります。



# ツール画面の説明

トップメニュー画面、または目次から教科書内のページに移動すると、画面上にツールバーボタン等が表示されます。

## 基本機能ツール

本製品の基本的な機能を作動させるボタンです。詳しくは **→ p.7** をご参照ください。

## ツールバー

基本機能ツール以外の本製品の各種機能を動作させるボタンです。詳しくは **→ p.10** をご参照ください。



## 画面切り替えタブ

紙面をタブで表示しています。クリックして画面を切り替えることができます。詳しくは **→ p.30** をご参照ください。

## ひらくタブ

基本機能ツールとツールバーの表示位置を左右に切り替えます。詳しくは **→ p.31** をご参照ください。

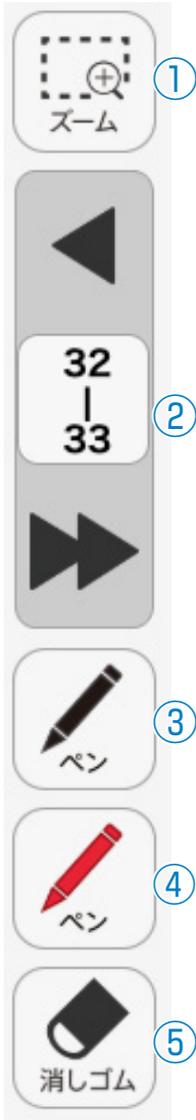
## タブリスト表示ボタン

現在の表示画面から選択できるタブのリストを表示します。詳しくは **→ p.30** をご参照ください。

## 環境設定ボタン

ふりがななどの設定画面を開きます。詳しくは **→ p.31** をご参照ください。

# 基本機能ツールの説明



## ① 拡大/縮小ツール

紙面の拡大/縮小表示を行うボタンです。ダブルクリックするとズームモードに変化し、スライダーの●を上下に移動または  $\oplus$   $\ominus$  ボタンで、任意の大きさに画面を拡大/縮小することができます。

### ズームモード



スライダーの●を上下に移動または  $\oplus$   $\ominus$  ボタンをクリックすると、ズームモードが右のように変わります。「ズームをやめる」ボタンをクリックすると、画面表示が等倍に戻り、ズームモードが終了します。



ズームボタンを押しただけでは「ズームをやめる」ボタンにならないので注意じゃ



### マウスによる拡大/縮小

ズームボタンをクリックすると、マウスポインターが  $\oplus$  に変化します。この状態で、紙面をドラッグすると任意の場所を拡大表示できます。「ズームをやめる」ボタンをクリックすると、画面は元に戻ります。

1 正の数・負の数

1 符号のついた数

0を基準とした数量

右の2つの温度計は、ある日の午前6時における新潟と鹿児島県の気温を示しています。それぞれ何℃を示しているでしょうか。また、「-」のついた気温はどのようなことを表しているか考えてみましょう。

0℃より低い気温に「-」がついているね。

0より小さいということかな。

見方・考え方

どこに着目して考えればいいかな。

0を基準とした数量

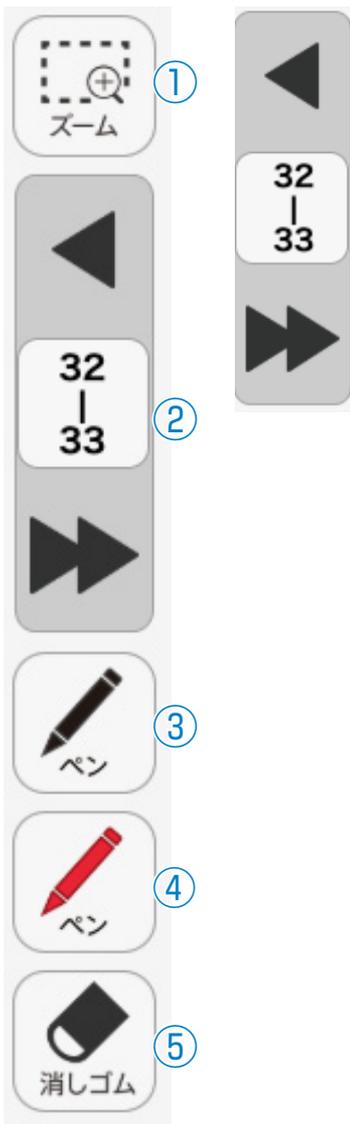
右の2つの温度計は、ある日の午前6時における新潟と鹿児島県の気温を示しています。それぞれ何℃を示しているでしょうか。また、「-」のついた気温はどのようなことを表しているか考えてみましょう。

0℃より低い気温に「-」がついているね。

0より小さいということかな。

見方・考え方

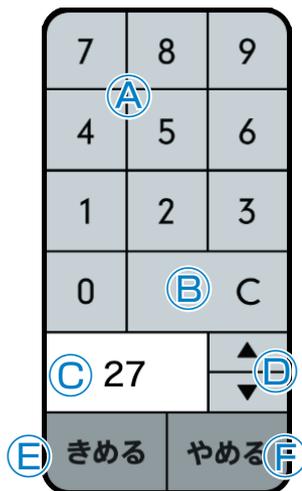
どこに着目して考えればいいかな。



## ② ページめくりツール

ページのめくりなどを行うボタンです。◀(◀◀)または▶(▶▶)をクリックすると、前のページ(チャプター)、次のページ(チャプター)に移動します。また、中央の通し番号部分ををクリックすると、以下のテンキーウィンドウが表示されます。

### テンキーウィンドウ



#### Ⓐ 数字キー

0~9のボタンを押して、ページ番号を入力します。

#### Ⓑ Cキー

入力した数字をクリアします。

#### Ⓒ ページ番号表示

入力したページが表示されます。この部分をクリックして数字を直接入力することも可能です。

#### Ⓓ ページ送り

1ページずつ数字を変更することができます。

#### Ⓔ 決定ボタン

指定したページへ移動します。

#### Ⓕ 終了ボタン

テンキーウィンドウを閉じます。

### ドラッグ&ドロップまたは、指によるページめくり

紙面上でドラッグ&ドロップすることで、ページをスクロールすることが可能です。同様に画面上で指を用いて画面を左右に動かすことでも、ページをめくりことができます。ただし、◀◀ または ▶▶ が表示されている場合は、ドラッグ&ドロップまたは指によるページスクロールはできません。



ペンツールオフ

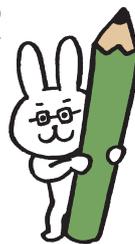


ペンツールオン

## ③ ペンツール

紙面に自由に書き込むことが可能なペンモードになります。ペン種、太さ、透明度をペンパレット(➡p.11)で自由に変更できます。黒く反転したボタンをもう一度クリックすると、ペンモードが解除されます。

最後に使用したペンツールの色は、下のようペンボタンに表示されるのじゃ





①



赤ペンオフ



赤ペンオン

②



消しゴムオフ



消しゴムオン

③



④



⑤



#### ④ペンツール(赤ペン)

赤ペンボタンをクリックすると、紙面に自由に書き込むことが可能なペンモードになります。黒く反転したボタンをもう一度クリックすると、ペンモードが解除されます。この赤ペンツールは、ペン種、太さ、透明度は変更できません。

#### ⑤消しゴムツール

消しゴムボタンをクリックし、紙面に描画したペン・マーカー・図形・スタンプに触れると、それらの描画を消すことができます。消しゴムについては [→ p.18](#) をご参照ください。

# ツールバーの説明



「ツールバーをしまう」をクリックすると、ツールバーが消え、「ツールバーを出す」に変わります。これをクリックするとツールバーが再度表示されます。

## ① 閉じるボタン

ボタンをクリックすると、図のようなウィンドウが表示され、「はい」を選択すると、デジタル教科書を終了します。「いいえ」を選択すると、元の表示画面に戻ります。



## ② 目次ボタン

ボタンをクリックすると、デジタル教科書の目次ページに移動します。

## ③ 元のページへボタン

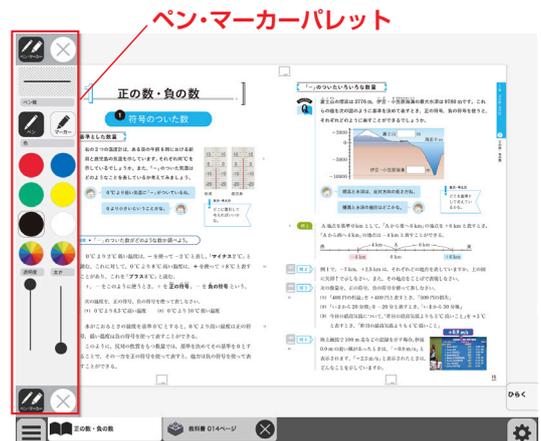
ページの移動をした場合に、移動する前のページに戻ります。

## ④ タッチボタン

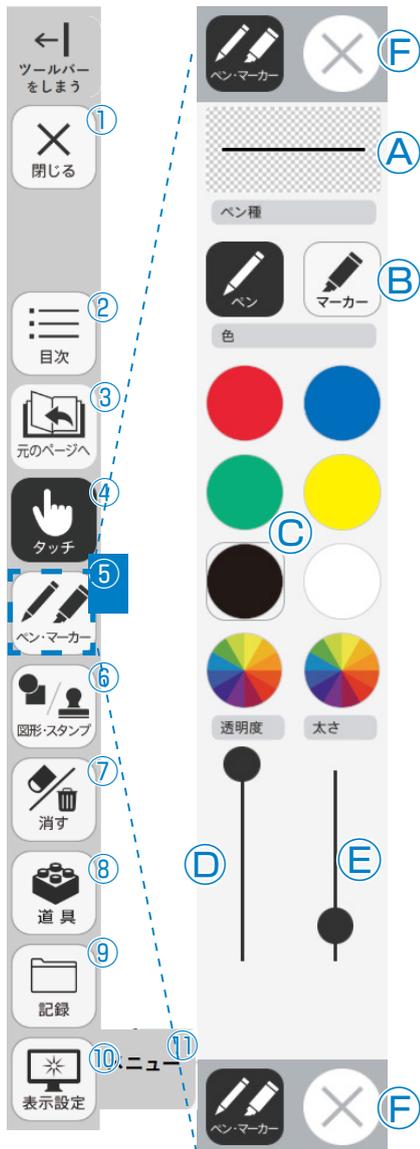
このアイコンが表示されている場合は、紙面をタッチで操作できる状態であることを表示しています。なお、このアイコンの表示状態中は、配置したスタンプや線、トリミング画像を操作することはできません。

## ⑤ ペン・マーカーボタン

ボタンをクリックすると、ペン描画モードに変わり、ペン・マーカーパレットが表示され、線の色や太さなどが変更できます。

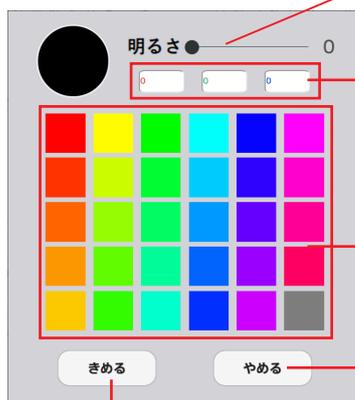


## ペン・マーカークラレット



- ① **プレビュー**: 設定中のペン・マーカのプレビューを表示します。
- ② **線種**: 「ペン」「マーカ」それぞれのボタンをクリックすることで、描画する線の種類を切り替えることができます。
- ③ **色**: ペン・マーカの色を選択することができます。また、下の二つの色 wheel をクリックするとカラー登録ウィンドウが表示され、任意の色を登録することができます。

### ●カラー登録ウィンドウ



スライダーを移動して色の明るさを変更できます。

R(赤), G(緑), B(青)の数値を直接入力して色を設定できます。

標準で設定された色見本部分ををクリックすることで、任意の色を選択することができます。

カラー登録ウィンドウを閉じます。

選択した色を決定します。

- ④ **透明度**: 描画する線の透明度を変更できます。
- ⑤ **太さ**: 描画する線の太さを変更できます。
- ⑥ **終了ボタン**: ⊗ をクリックすると、ペン・マーカークラレットが終了します。

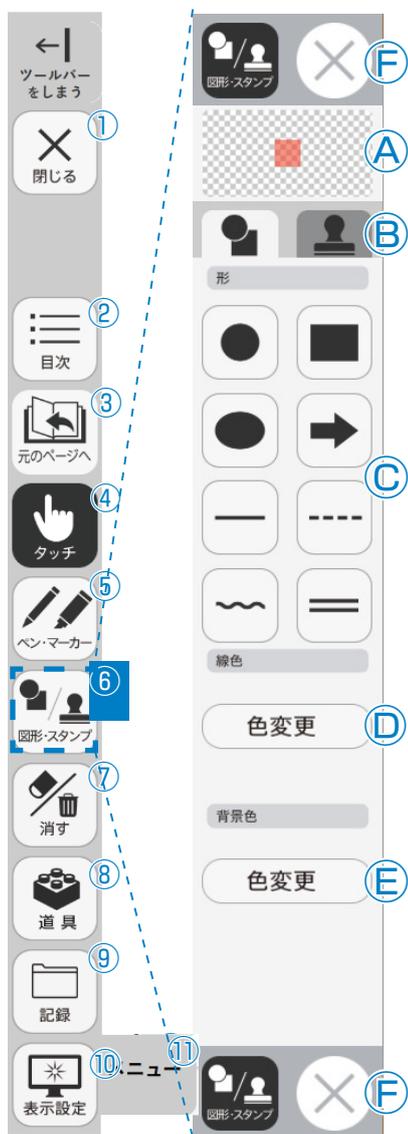


ペンは自由にかけるが、マーカは縦横まっすぐにしか引けないので注意な のじゃ



## ⑥ 図形・スタンプボタン

図形・スタンプボタンをクリックすると、図形・スタンプ描画モードに変わり、図形・スタンプパレットが表示されます。



### 図形・スタンプパレット(図形モード)

- ① プレビュー: 設定中の図形のプレビューを表示します。
- ② 切り替えタブ: 図形モードとスタンプモードを切り替えます。
- ③ 図形: 図形, 線の形を選択します。
- ④ 線色変更ボタン: ボタンをクリックすると色選択パレットが表示され, 線の色・透明度・太さを変更することができます。

### ●色選択パレット



設定中の図形のプレビューを表示します。

丸の色をクリックすることで、図形の色を変更できます。下二つの🌈をクリックすると、カラー登録ウィンドウが表示され、任意の色を登録することができます。カラー登録ウィンドウの使い方は → p.11 をご参照ください。

スライダーにある●をスライドさせることで、図形の透明度と線の太さを変更できます。

このパレットで選択した色や形などを決定します。また、このボタンをクリックすることで図形・スタンプパレットに戻ることができます。



⑥**背景色変更ボタン**: ボタンをクリックすると背景色選択パレットが表示され、円・長方形について、図形の中の色を変更できます。

●**背景色選択パレット**



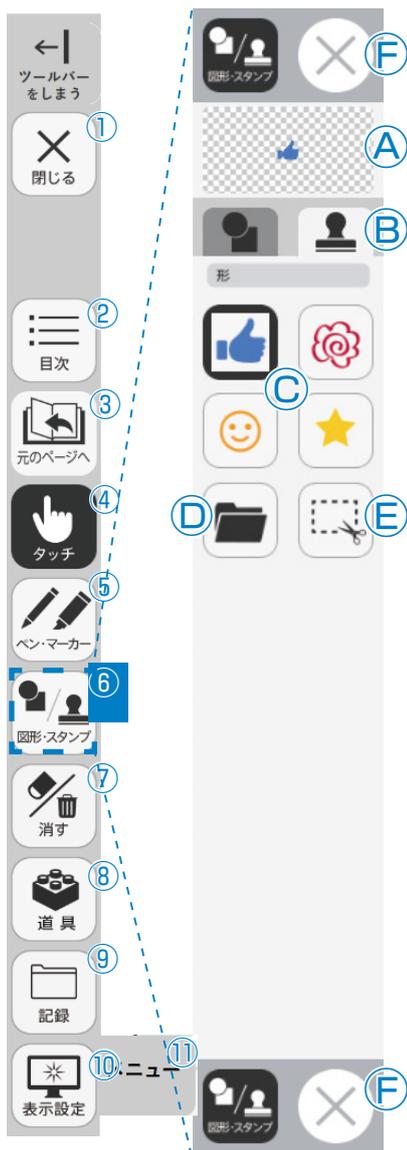
設定中の図形のプレビューを表示します。

丸の色をクリックすることで、図形の色を変更できます。下二つの色をクリックすると、カラー登録ウィンドウが表示され、任意の色を登録することができます。カラー登録ウィンドウの使い方は → p.11 をご参照ください。

スライダーにある●をスライドさせることで、図形の透明度を変更できます。

このパレットで選択した色や形などを決定します。また、このボタンをクリックすることで図形・スタンプパレットに戻ることができます。

⑦**終了ボタン**: ⊗をクリックすると、図形・スタンプパレットを終了します。

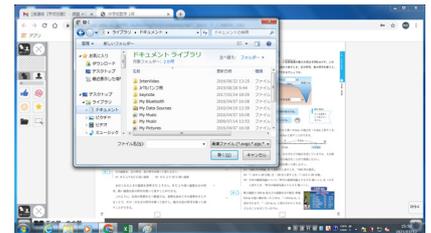


## 図形・スタンプパレット(スタンプモード)

- ① **プレビュー**: 設定中のスタンプのプレビューを表示します。
- ② **切り替えタブ**: 図形モードとスタンプモードを切り替えます。
- ③ **形状選択ボタン**: スタンプの形を選択します。
- ④ **フォルダボタン**: ボタンをクリックするとお使いのパソコンのフォルダが開き、任意の画像をスタンプとして利用することができます。

### ●フォルダボタンの使い方

① ボタンをクリックすると、お使いのパソコンのフォルダが表示されます。



② 任意のフォルダを選び、画像をダブルクリックするか、開くをクリックします。



③ 画像を選ぶと紙面に戻り、フォルダボタンが反転します。



④ カーソルを紙面にドラッグして範囲選択すると、画像がスタンプされます。



⑤ **トリミングツール**: 紙面の一部を切り取って保存、貼り付けなどを行うトリミングモードに切り替えます。トリミングモードについては [➡ p.16-17](#) をご覧ください。

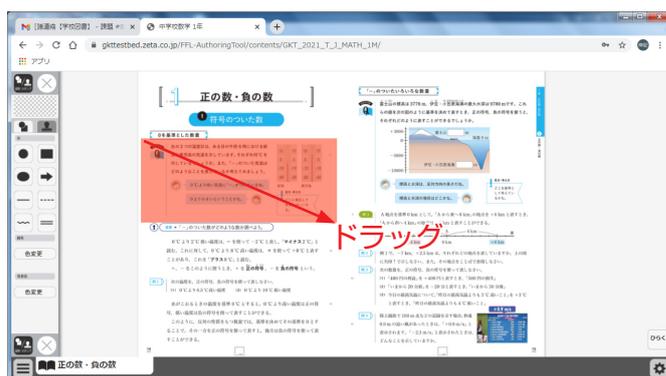
⑥ **終了ボタン**: 図形・スタンプパレットを終了します。

## 図形・スタンプの使い方

①図形・スタンプパレットを表示させて、任意の図形やスタンプを選択してください。選択している図形のアイコンは、プレビュー画面に表示されます。



②図形やスタンプを選択した状態でマウスカursorを紙面上に移動させ、任意の場所にシングルクリックするか、またはドラッグします。



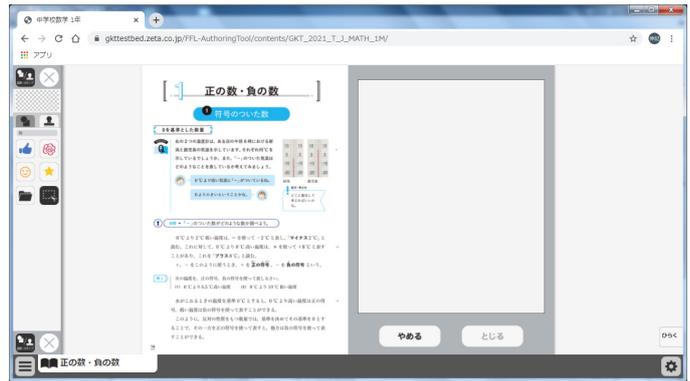
③シングルクリックまたはドラッグすると、紙面にスタンプが配置されます。スタンプの周囲には $\leftrightarrow$ マークが表示されており、このマークをドラッグすることで、スタンプの大きさを自由に変更することができます。

また、スタンプそのものにカーソルを合わせてドラッグすることでスタンプを移動することもできます。



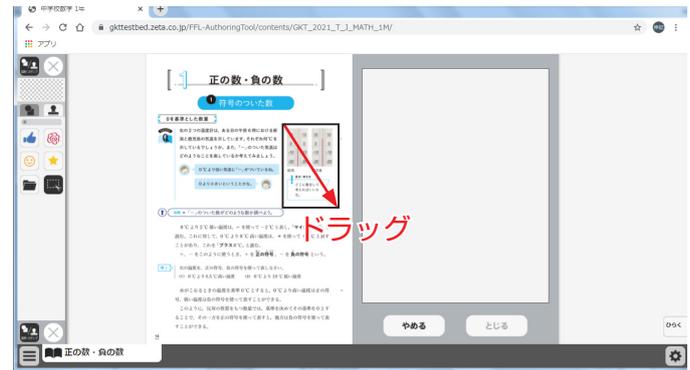
## トリミングモードについて

トリミングツールボタンをクリックすると、右の画面に切り替わります。トリミングモードでは、任意の紙面の一部を切り取って保存し、その保存した画像を任意の場所、大きさに貼り付けることができます。

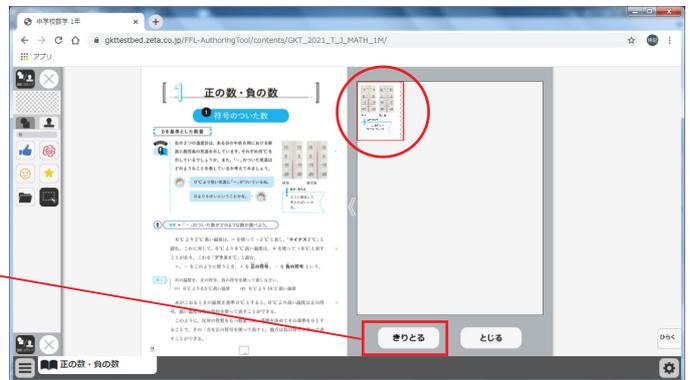


## トリミングの手順

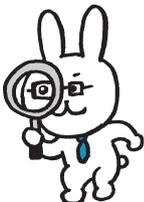
① トリミングモードの状態では、紙面の必要部分をドラッグで選択します。



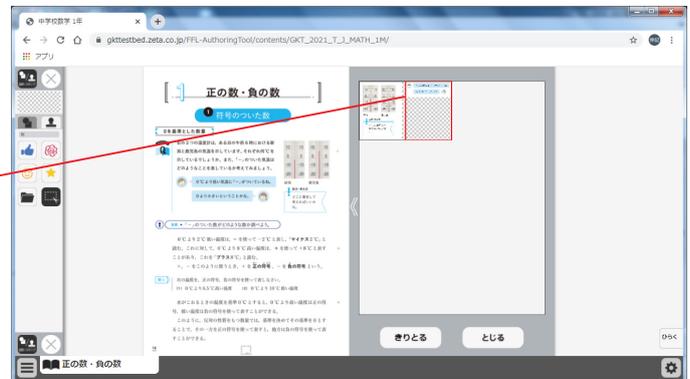
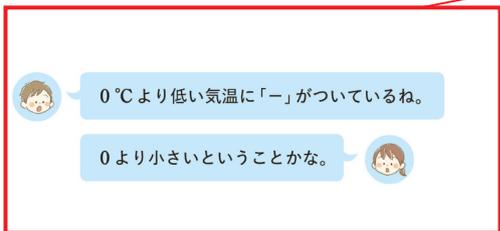
② ドラッグした場所の画像が、画面右のウィンドウに保存されます。



画像は何枚でも保存できるが、2枚目以降の画像を保存する場合は、「きりとる」ボタンを押してからではないと、トリミングをすることはできないのじゃ。

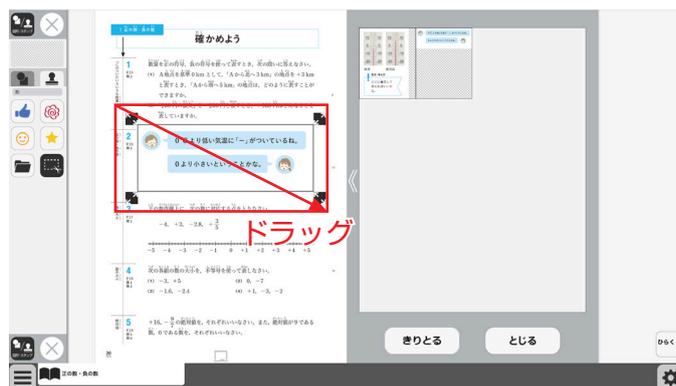


③ 保存した画像から紙面に配置したい画像を選択します。選択された画像は赤枠で囲まれます。



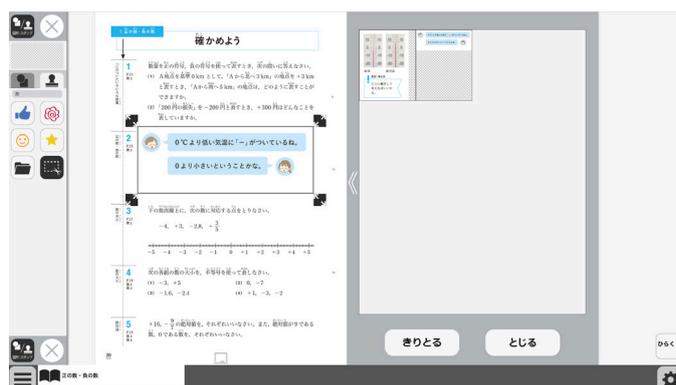
④③での画像選択の後、紙面上でシングルクリックまたはドラッグすると、選択した画像が配置されます。

※配置した画像は、「消しゴム」ボタンや「消す」の全消去で消すことができます。

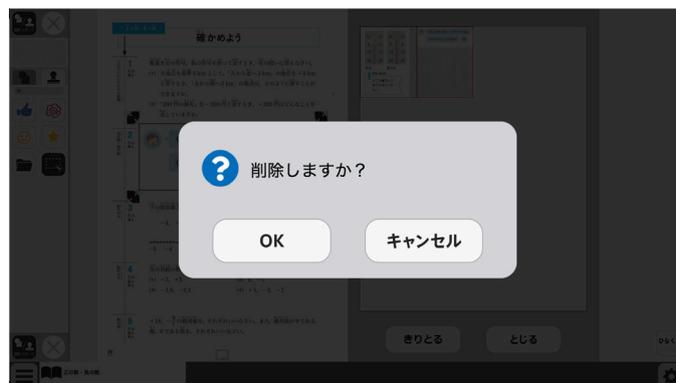


⑤画像の配置が終わると、切り取った画像一覧ウィンドウが消え、元の画面に戻ります。配置した画像の周囲には  マークが表示されており、このマークをドラッグすることで、画像の大きさを自由に変更することができます。

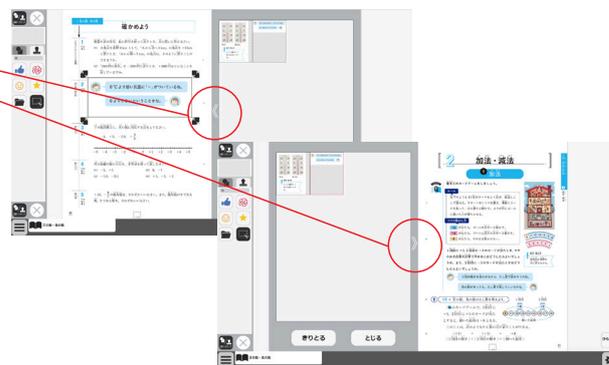
また、画像そのものをドラッグすることで、画像の位置を自由に変えることができます。



切り取った画像一覧ウィンドウの画像を選択した状態(赤枠で囲まれた状態)でもう一度クリックすると、削除確認画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、選択した画像は削除されます。



画面中央の矢印をクリックして、切り取った画像一覧ウィンドウの左右の位置を変更できます。



### ※注意

トリミングツールは、通常インストールして使用する場合は使用できません。インストール版でもご使用になる場合は、インストール時にインストール先を変更する必要があります。(p.4を参照してください)

#### インストール先の例

(Cドライブに作成した任意のフォルダやC:¥ユーザー名¥パブリックなどの複数のユーザーが自由にアクセスできる場所など)



## ⑦ 消すボタン

けすボタンをクリックすると、ツールバー下部に消去関連ツールパレットが表示されます。



### ● 消去関連ツールパレット



#### ④ 消しゴム

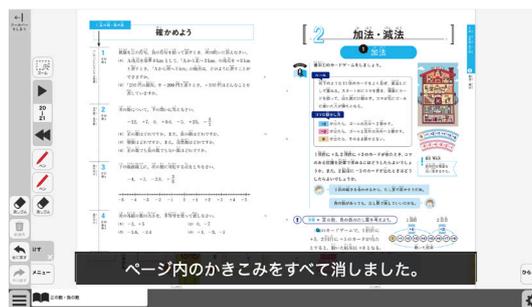
ボタンを押し、消しゴムモード状態で紙面をドラッグすると、紙面上の描画(ペン・マーカー/図形・スタンプ)を消すことができます。また、ドラッグではなく、描画上でクリックしても消すことができます。再度ボタンをクリックすることで、消しゴムモードは解除されます。※アイコンが反転すると同時に隣に表示されている基本機能ツールの消しゴムアイコンも反転します。



◀消しゴムモードになると、このように反転されたアイコンになります。

#### ⑤ 全消去

このボタンをクリックすると、表示中紙面の描画が全て削除され、画面下に右の画像のようなメッセージが表示されます。また、全消去した描画は「元に戻す」ボタンをクリックすることで削除前の状態に戻すことができます。



◀表示中紙面に描画がない場合、操作は無効となります。

#### ⑥ 元に戻す

このボタンをクリックすると、紙面上に描かれている描画(ペン・マーカー/図形・スタンプ)の操作を1つ前の状態に戻します。



◀表示中紙面に描画がない場合、操作は無効となります。

#### ⑦ やりなおす

「元に戻す」ボタンで戻した操作を1つやり直します。



◀表示中紙面に描画がない場合、操作は無効となります。

#### ⑧ けす・メニュータグ

どちらのタグもクリックすると消去関連ツールパレットを終了することができます。



## ⑧ 道具ボタン

ボタンをクリックすると、道具関連ツールパレットが表示されます。

### ● 道具関連ツールパレット

#### Ⓐ タイマー

ボタンをクリックすると、紙面にタイマーが表示されます。タイマーをドラッグ&ドロップすることで、紙面の任意の位置にタイマーを移動できます。タイマーの詳細な使い方は [▶ p.20](#) をご覧ください。

#### Ⓑ 白紙ツール

小単位ごとに白紙を呼び出すことができます。文字の書き込みや描画、画像の貼り付けなどをして、保存をしておくことができます。白紙紙面にはページタブ画面、ワークシートなど同様のツールバーが表示されます。ツールの詳細は、[▶ p.25~](#) をご参照ください。

#### Ⓒ ふせん

ボタンをクリックすると、ふせんボタンが白黒反転してふせんモードに切り替わります。ふせんの詳しい使い方は [▶ p.21](#) をご参照ください。

#### Ⓓ ポインター

ボタンをクリックすると、紙面にポインターが表示されます。ドラッグ&ドロップすることで任意の位置にポインターを移動できます。ポインターパレットの詳細な使い方は [▶ p.22](#) をご覧ください。

#### Ⓔ URLコピー (クラウド版・サーバー版限定機能)

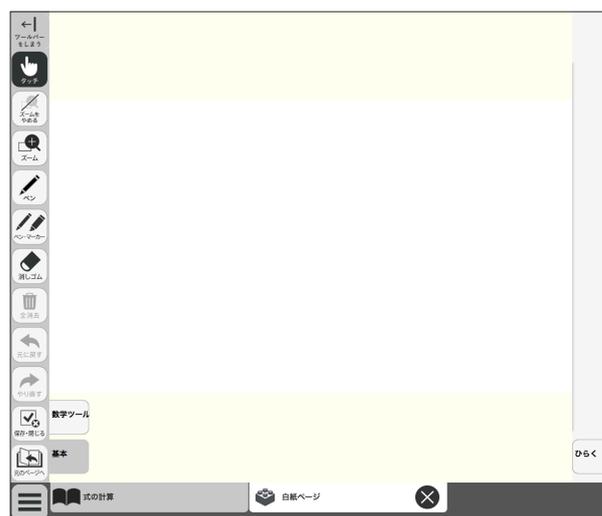
表示中のページ紙面のURLをコピーすることができます。以下Ⓕの機能で別のページに貼り付けたり、他のアプリケーションなどに貼り付けたりして使用できます。(指導者用・学習者用でURLが異なりますので注意してください。)

#### Ⓕ リンク

紙面にデジタル教科書のURLや別のサイトのリンクを貼り付けることができます。

#### Ⓖ どうぐ・メニュータグ

×か、メニューのタグをクリックして「どうぐ関連ツールパレット」を閉じます。

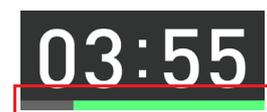


## タイマーについて



- ア 選択した時間がセットされます。
- イ タイマーの残り時間(カウントアップ時は経過時間)を表示します。また、カウントの進行をプログレスバー(右図)に表示します。

プログレスバー▶



- ウ 分と秒を▲▼ボタンで自由にセットできます。
- エ 「開始」ボタンをクリックすると、タイマーがスタートします。ボタンは「一時停止」に切り替わります。「一時停止」をクリックするとタイマーはストップします。

一時停止ボタン▶



- オ 時間がリセットされ、初期状態の05:00に戻ります。
- カ 「カウントアップ」をクリックすると、時間が加算されていくカウントアップ方式になります。「カウントダウン」をクリックすると、時間が減っていくカウントダウン方式になります。
- キ 時間設定ボタンを非表示にしたシンプル表示にします。「詳細表示」をクリックすることで元に戻ります。

シンプル表示▶



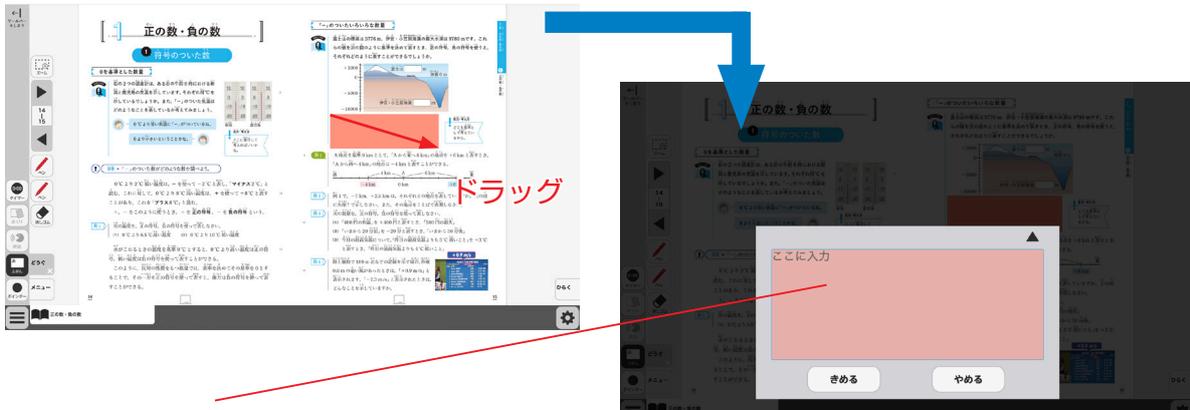
- ク タイマーを最小表示します。最大化表示ボタンをクリックすることで元の大きさに戻ります。
- コ タイマーを画面いっぱいに最大表示します。最小化ボタンをクリックすると、元の大きさに戻ります。
- コ タイマーを終了します。

最大化表示ボタン



## ふせんの使い方

ふせんボタンをクリックしてふせんモードに切り替え、紙面上の任意の位置でドラッグするとふせんダイアログが表示されます。ふせんダイアログ画面で「きめる」をクリックすると、ふせんが紙面に配置されます。



### ふせんダイアログ



▲ボタンをクリックするとメニュー部分が展開されます。

- ④ ▼ボタンでメニュー画面を閉じます。
- ① 文字の向きを選択できます。
- ② 書体を選択できます。
- ③ 文字サイズを変更できます。
- ⑤ 「色変更」ボタンをクリックすると、背景色選択パレットが表示され、ふせんの色と透明度を変更することができます。背景色選択パレットの操作については [➡ p.13](#) をご参照ください。
- ⑥ この枠内にテキストを入力できます。
- ⑦ 「きめる」をクリックすると、ふせんが画面に描画されます。
- ⑧ 「やめる」をクリックするとふせんを作成せずに元の紙面に戻ります。

### 紙面に描画されたふせんについて

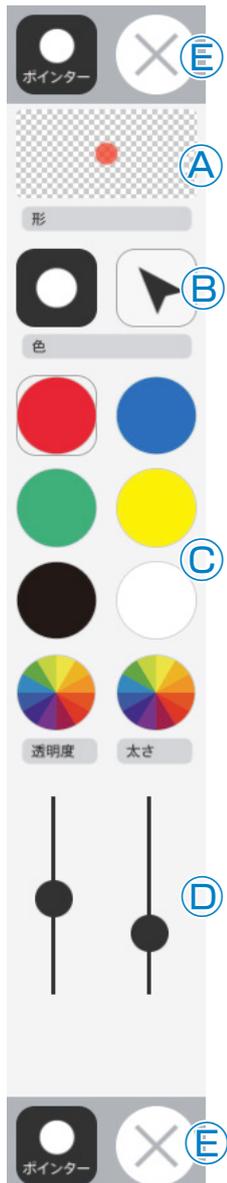


ふせん内をドラッグすることで、任意の位置にふせんを移動できます。

- ⑦ ふせんの表示/非表示を切り替えます。
- ⑧ ふせんを閉じます(消去されるため操作に注意してください)。
- ⑨ ふせんを最背面に移動します。もう一度クリックすると元に戻ります。
- ⑩ ふせんダイアログ画面を開きます。
- ⑪ この部分ドラッグすることで、ふせんの大きさを変更できます。



ふせんモードになっていないと、ふせんを触ることはできないので注意が必要じゃ。



## ポインターパレットについて

- ① **プレビュー**: 設定中のポインタのプレビューを表示します。
- ② **切り替えボタン**: ポインタの図形を選択できます。
- ③ **カラーパレット**: 丸の色をクリックすることで、図形の色を変更できます。下二つの  をクリックすると、カラー登録ウィンドウが表示され、任意の色を登録することができます。カラー登録ウィンドウの使い方は [→p.11](#) をご参照ください。
- ④ **線色変更ボタン**: スライダーにある●をスライドさせることで、図形の透明度と太さを変更できます。
- ⑤ **終了ボタン**: ⊗ ボタンをクリックすると、ポインターパレットを終了します。



## ⑨ 記録ボタン

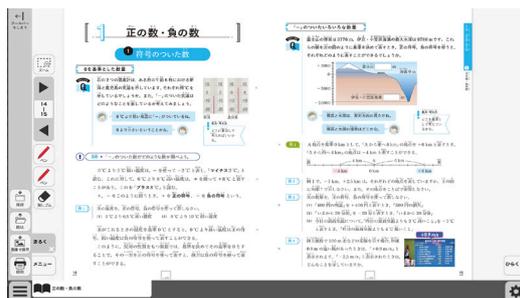
記録ボタンをクリックすると、ツールバー下部に記録関連ツールパレットが表示されます。

### ● 記録関連ツールパレット



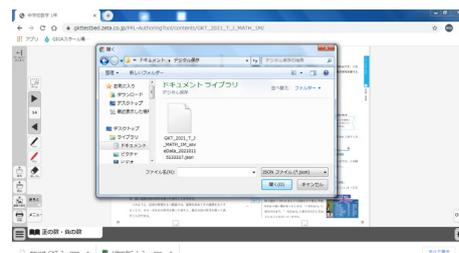
#### Ⓐ 保存

紙面上の描画情報や表示設定情報などをお使いの端末に保存します。ファイル保存の方法はお使いのブラウザによって異なりますので、その操作の指示に従ってください。



#### Ⓑ 読込

Ⓐで保存したファイルを読み込んで、紙面上に描画情報や表示設定情報、最終表示ページ情報などを反映させることができます。ボタンをクリックすると画面上に別ウィンドウが表示されるので、データを保存した任意のフォルダを選択してください。



#### Ⓒ 画像で保存

このボタンをクリックすると、紙面上に描かれている描画(ペン・マーカー/図形・スタンプ)を含めた紙面をお使いのパソコンに画像として保存することができます。

#### Ⓓ 印刷

このボタンをクリックすると、紙面上に描かれている描画(ペン・マーカー/図形・スタンプ)を含めた紙面を印刷することができます。

※インストール版ではこの機能は使用できません。



## ⑩ 表示設定ボタン

表示設定ボタンをクリックすると、ツールバー下部に表示設定関連ツールパレットが表示されます。

### ●表示設定関連ツールパレット



#### ④全画面表示

ボタンをクリックすると、フルスクリーン表示となります。フルスクリーン表示中はボタンが「元に戻すボタン」に変わり、「元に戻すボタン」をクリックすると、フルスクリーン表示は終了します。



◀フルスクリーン中は「元に戻すボタン」に変わります。

#### ⑤クリックポイント

ボタンをクリックすると、ボタンが白黒反転し、紙面にあるクリックポイントが色付きで表示されます。



◀クリックポイント表示状態



◀通常の状態

#### ⑥見開き・まきもの

紙面の見え方を「見開き」か「まきもの」に切り替えます。通常は「見開き」モードになっています。

#### まきものモードについて

まきものモードは、見開きで途切れることなくページをスムーズにスライドできるモードです。このモードでは弊社がデジタル教科書に設定したページの区切りがあり、区切りの中であれば教材に関係なくドラッグ&ドロップでページを送る/戻すことが可能です。

ただし、このモードのまま区切りを超えることはできないため、まきものモードを終了し、見開きモードの▶▶でページを送る必要があります。



◀見開きモード



まきものモード▶



#### ⑦非表示

教科書紙面以外の描画情報やアイコン、ツールなどをすべて非表示にして、紙の教科書と同じ表示にすることができます。もう一度ボタンをクリックすると、非表示になっていた各種情報が表示されます。



◀各種コンテンツが無効な状態



◀各種コンテンツが有効な状態

#### ⑧表示設定・メニュータグ

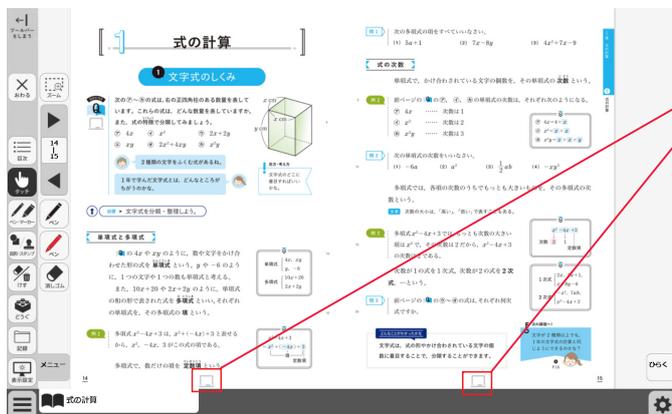
どちらのタグもクリックすると表示設定関連ツールパレットを終了することができます。  
※表示設定タグは×印をクリックすることでツールパレットを終了することができます。

メニュー

## ⑪メニュータブ

ツールバーの表示/非表示を切り替えることができます。

# 数学固有ツールの説明



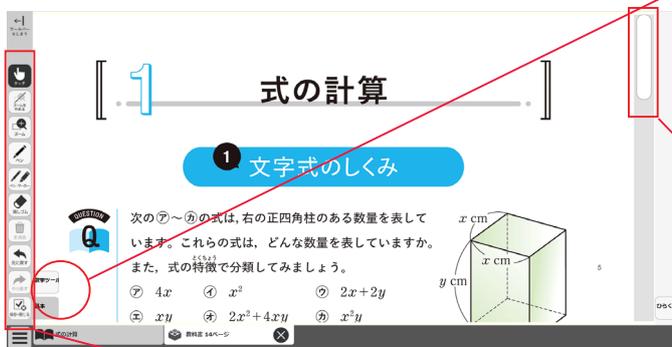
## A ページタブ画面

各ページの紙面下部にページタブ画面を開くボタンがあります。クリックすると単ページにて拡大したページタブ画面が別のタブで開きます。ページタブ画面では、例題などの解答の段階表示や数学ツール類を使った操作が行えます。

### ● ツールバーの切り替え

**数学ツール** ページタブ画面では、ツールバーが専用のものになります。通常は基本ツールが表示されています。ツールバー脇のタブを押して切り替えることができます。

**基本**



紙面の移動は右のスクロールバーを上下して行います。



通常の紙面に戻るには、タブを切り替えるかツールバーの保存・閉じるボタンを押してください。書き込んだものを保存しないときは、下部タブの×を押してタブ画面を閉じてください。(この場合は保存されません。)

### ページタブ画面の基本ツールバー

(紙面のサイドバーにあるボタンと同じ機能です)

- ・タッチ
- ・ズームをやめる
- ・ズーム
- ・ペン
- ・ペン・マーカー
- ・消しゴム
- ・保存・閉じる

### ページタブ画面の数学ツールバー

- ・消しゴム
- ・三角定規
- ・三角定規
- ・分度器
- ・ものさし
- ・コンパス
- ・グラフ(ツール)
- ・数式(ツール)
- ・電卓
- ・タイマー



(注意) ページタブ画面のクリーム色のエリアは数学のツール類を使用できません。ただし、文字のかき込み、グラフや数式はクリーム色の領域に乗せることができ、乗せた場合はスクロールの影響を受けず画面上の位置が不動となります。

← |  
ツールバー  
をしまう



消しゴム



①  
三角定規



②  
三角定規



③  
分度器



④  
ものさし



⑤  
コンパス



⑥  
グラフ



⑦  
 $\sqrt{2}x$   
数式



⑧  
電卓

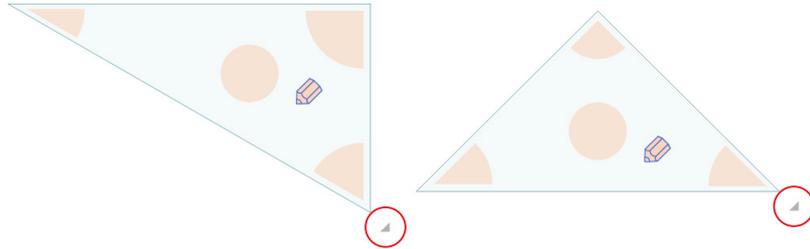


⑨  
0:00  
タイマー

## ページタブ画面の数学ツール

### ①・②三角定規(2種類)

2種類の三角定規を紙面に配置します。



#### 縮小・拡大

定規右下のグレーの三角にマウスカーソルを当てるとカーソルが矢印に変わり、ドラッグすることで定規の縮小と拡大ができます。

#### 移動

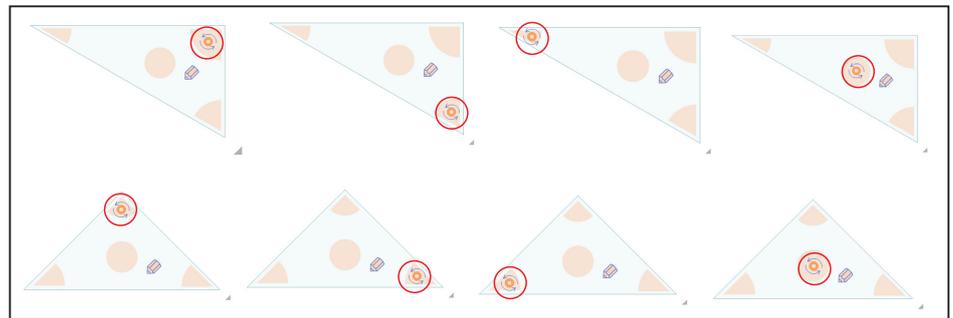
三角定規内の何も無いところをドラッグすると移動できます。

#### 回転

マウスカーソルを定規のオレンジ色のエリアに当てるとカーソルが回転状態になります。そのまま押しとそのオレンジエリアの角が中心位置となりドラッグすることで回転できます。

#### 描画

エンピツマークを押すと、描画モードとなり線を引くことができます。定規の辺に沿ってドラッグすると辺に沿った直線が引けます。



### ③分度器

分度器を紙面に配置します。

#### 縮小・拡大

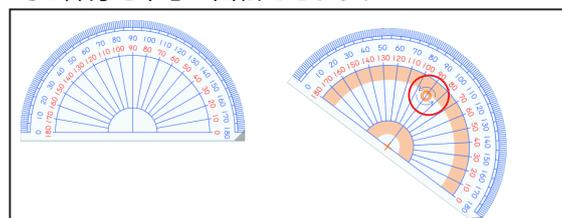
右下のグレーの三角にマウスカーソルを当てるとカーソルが矢印に変わり、ドラッグすることで分度器の縮小と拡大ができます。

#### 移動

分度器内の何も無いところをドラッグすると移動できます。

#### 回転

赤い数値のあたりにマウスカーソルを当てると回転モードとなり、ドラッグすると、その部分を中心に回転できます。



← |  
ツールバー  
をしまう



消しゴム



三角定規



三角定規



分度器



ものさし



コンパス



グラフ



数式



電卓



タイマー

## ④ものさし

ものさしを紙面に配置します。

### 縮小・拡大

右下のグレイの三角にマウスカーソルを当てるとカーソルが矢印に変わり、ドラッグすることでものさしの縮小と拡大ができます。

### 移動

ものさし内の何も無いところをドラッグすると移動できます。

### 回転

オレンジ色のエリアにマウスカーソルを当てると回転モードとなり、ドラッグすると、左のエリアは左上角、真ん中のエリアは中央上部、右のエリアは右上角を中心に回転できます。

### 描画

エンピツマークを押すと、描画モードとなり線を引くことができます。定規の辺に沿ってドラッグすると辺に沿った直線が引けます。



## ⑤コンパス

紙面上でコンパスを使用します。

### 半径サイズ、縮小・拡大

エンピツ側の軸にカーソルを合わせるとカーソルが左右矢印になります。その状態で左右に動かすと半径の幅が広がります。さらに斜め方向に大きく動かすとコンパスが拡大したり縮小したりします。

### 移動

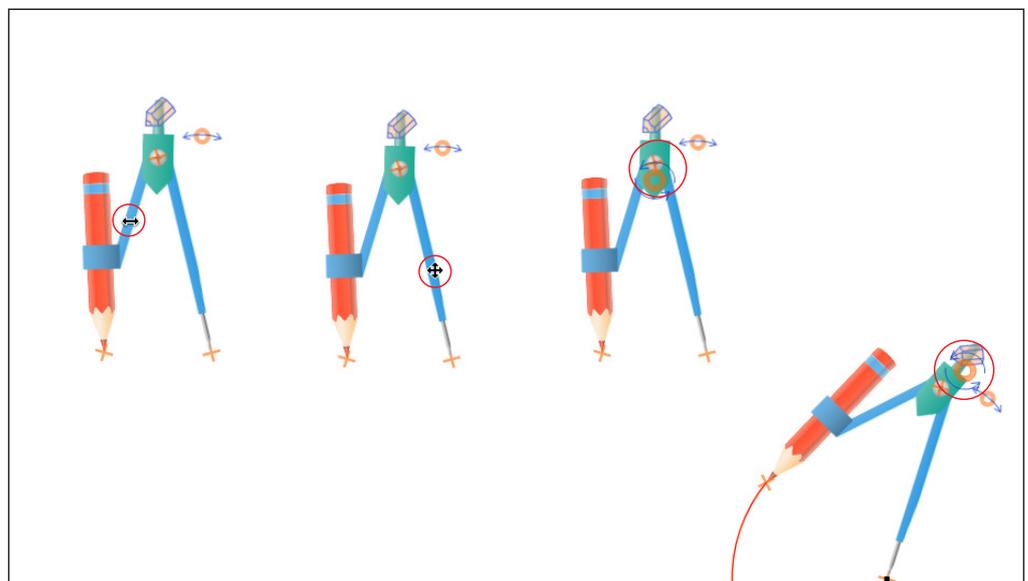
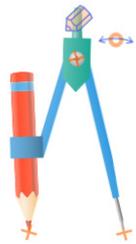
コンパス内の針側の軸にカーソルを合わせるとカーソルが十字になり、ドラッグすると移動できます。

### 回転

オレンジ色のエリアにマウスカーソルを当てると回転モードとなり、ドラッグすると回転できます。

### 描画

エンピツマークを押し、そのまま円を描くようにドラッグすると円を描くことができます。色や太さは左バーのペンの状態にて描画します。あらかじめペンの設定をしておいてください。



← |  
ツールバー  
をしまう



消しゴム



三角定規



三角定規



分度器



ものさし



コンパス



グラフ



数式



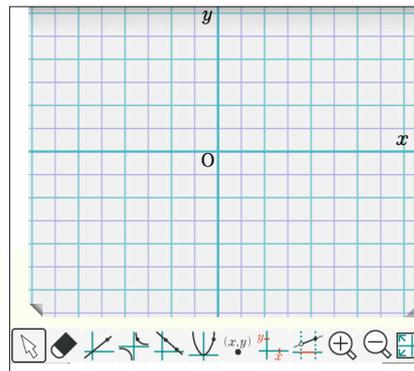
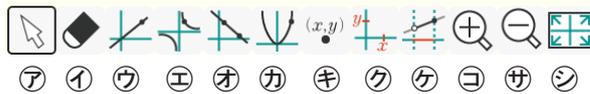
電卓



タイマー

## ⑥ グラフツール

紙面上に方眼紙面を作り、グラフを作成します。  
・グラフボタンを押し、紙面をドラッグして任意の大きさのグラフエリアを作ります。左下折り返し部分をクリックするとグラフ用紙を消すことができます。



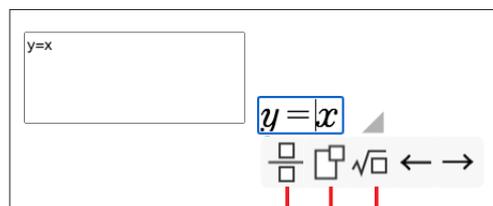
- ⑦ 移動やその他紙面上の操作をするときに押します。
- ① 消しゴムとして、描いたグラフを消します。
- ② 任意の1つの座標をクリックすると、その点を通る比例のグラフを描画します。
- ③ 任意の1つの座標をクリックすると、反比例のグラフを描画します。
- ④ 任意の2点をクリックして、比例のグラフを描画します。
- ⑤ 任意の1つの座標をクリックすると、その点を通る $y=ax^2$ のグラフを描画します。
- ⑥ このボタンで1点をクリックするとその座標が表示されます。
- ⑦ このボタンを押して、y軸、x軸上をクリックすると、その値が表示されます。
- ⑧ このボタンを押して、1点クリックし、さらに赤い点をドラッグするとxの変域を表示します。
- ⑨⑩ グラフを拡大表示したり、縮小したりします。
- ⑪ このボタンを押すと、画面いっぱいにグラフを表示します。

## ⑦ 数式ツール

紙面上に分数・指数・根号をボタンで入力できます。数字を入力してその数字を選択し、下のマークをクリックします。キーボードの↓キーで分数、↑キーで指数、ctrl+→でルートを入力する事もできます。←→ボタンで、入力位置を移動することができます。波括弧{で入力開始した時、改行を入れると、連立方程式を入力する事ができます。小括弧は閉じられた時、高さが自動調節されます。(ご参考までに、左上入力ボックスには、TeX(テフ)という数式表示ができる言語と互換性のある式で、数式を入力することができます。)

## ⑧ 電卓ツール

紙面上に電卓を配置し、実際の計算機と同様に計算ができます。



分数  
指数  
根号

## ⑨ タイマー

20ページに詳述していますタイマーを呼び出します。

## 消しゴム

消しゴムボタンで配置したパーツ類を消すことができます。

## B ワークシートと解答表示

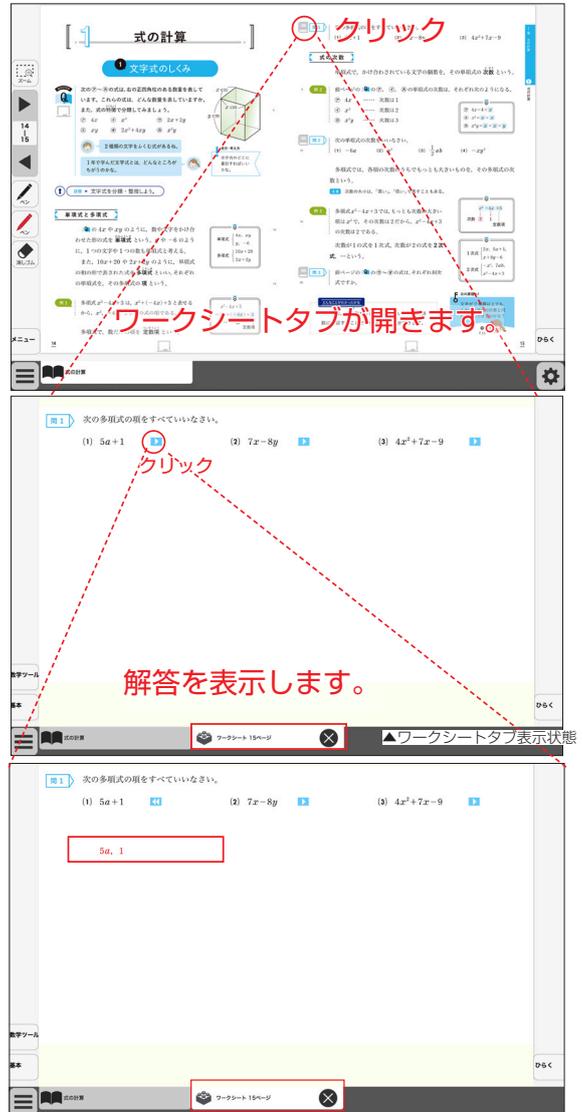
紙面中に  アイコンがある問題は、ワークシートを表示させることができます。(教科書中の問〇の問題についてワークシートを設定しています。)

ワークシートは解答を表示させることができますので、問題の答え合わせまでをスムーズに行うことができます。それ以外の問題については、 のマークを表示している問題に解答表示があります。

①紙面中の  アイコンをクリックすると、ワークシートタブが開き、ワークシート画面に切り替わります。

②ワークシート紙面上の  アイコンをクリックすると、ワークシートの解答が表示されます。(一部のワークシートでは、上記のマークをコンテンツの表示ボタンとして使用しており、その場合、 のボタンが解答表示ボタンとなります)

③ワークシートの解答が赤字で表示されます。



## プリント用ワークシート

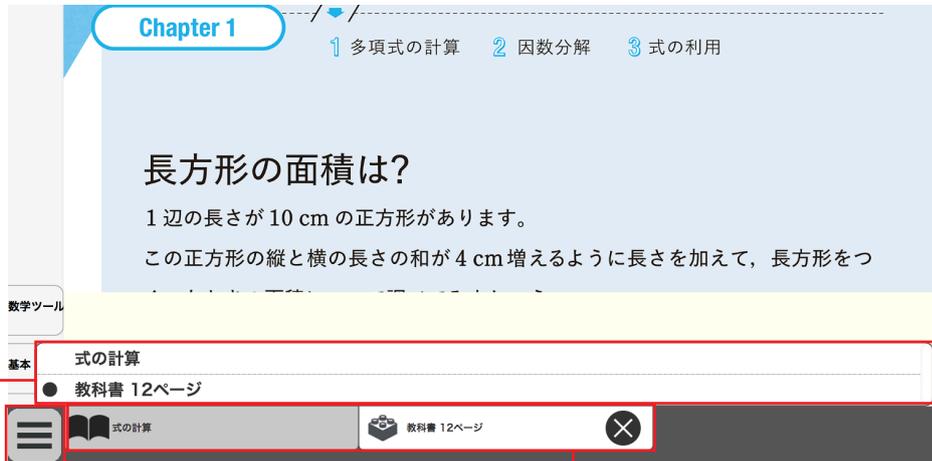
目次ページの「PDFダウンロード」ボタンを押すと、印刷して配布できるワークシートのPDFをダウンロードすることができます。(PDF印刷にはAdobe Acrobat Readerが必要です) 各学年でのまとまったPDFファイルとなっております。記名欄の左に数字があり、教科書のページを表していますので、目的のシートを選びご使用ください。



# タブリスト表示ボタンの説明



画面上の切り替え表示可能なページ(リフロー等)のリストを表示するボタンです。リスト上のタブ名を選択して任意のタブに移動することが可能です。



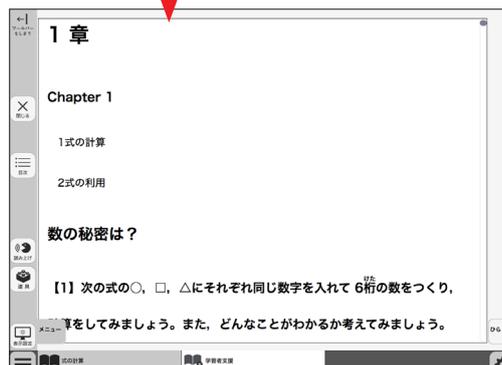
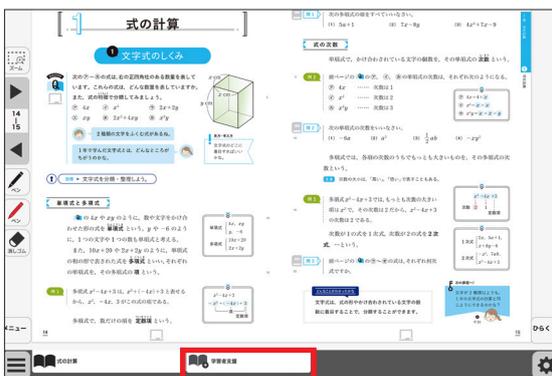
タブリストウィンドウ

タブリスト表示ボタン

表示されているタブ

# 画面切り替えタブの説明

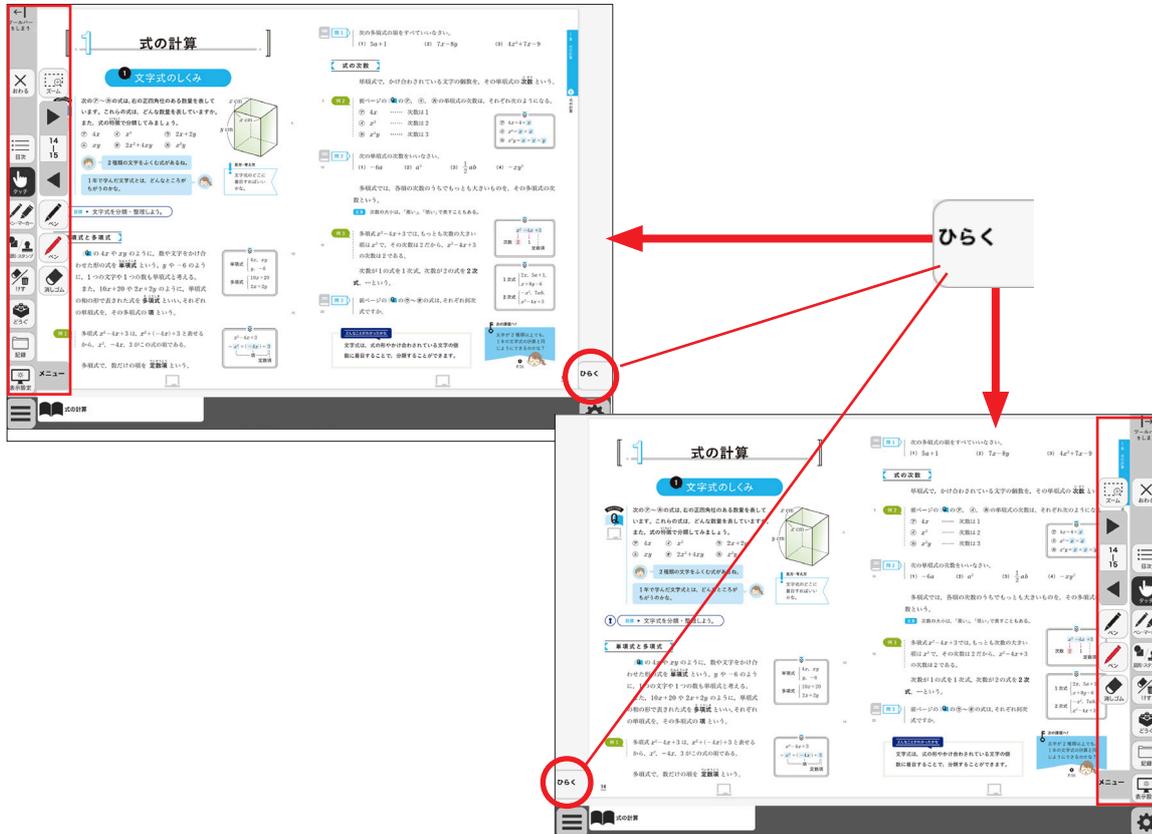
紙面下に表示されているタブをクリックすると、表示画面を切り替えることができます。



# ひらくタブの説明

ひらく

クリックすることで、基本機能ツール・ツールバー・ひらくタブがの配置が左右反対側に切り替わります。



# 環境設定の説明



紙面表示の設定を行うことができます。ボタンをクリックすると、環境設定メニューが表示されます。

## 環境設定メニュー



### ①閉じるボタン

環境設定メニューを閉じ、元の画面に戻ります。

### ②ふりがなボタン

紙面のふりがな表示の切り替えを行うことができます。「あり」のボタンをクリックすると、ボタンが白黒反転して紙面にふりがなが表示されます。

### ③白黒反転ボタン

紙面を白黒反転させる切り替えを行うことができます。「あり」のボタンをクリックすると、紙面が右図のように白黒反転して表示されます。

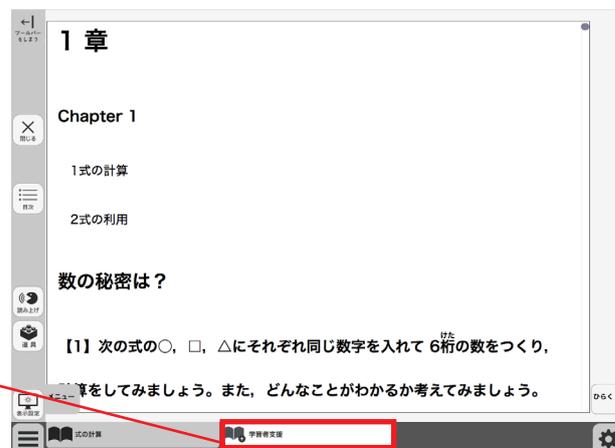


▲白黒反転画面

# 学習者支援機能について

学習者支援機能は、児童の特性に合わせて縦書きや横書き、書体、文字色などの画面のカスタマイズや読み上げ機能の有無などを設定できる機能です。ページ下の「学習者支援タブ」をクリックすることで設定された教材ページの学習者支援画面が表示されます。

学習者支援タブ



## 学習者支援機能のツールバーについて

学習者支援機能では、下図のようなツールバーが画面左(右)に表示されます。このツールバーを使い、さまざまな操作を行うことができます。



### ① 終了ボタン

デジタル教科書を終了させるボタンです。詳しくは [p.10](#) をご参照ください。

### ② 戻る(進む)ボタン

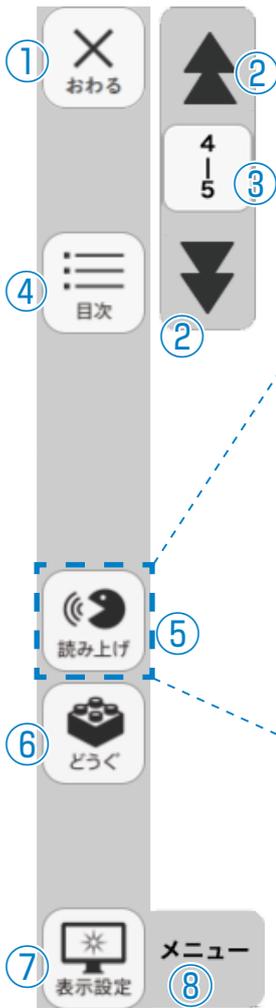
▲戻る ▲進む ボタンをクリックすることで、教材を1単元戻し(進め)ます。

### ③ ページ表示

現在のページ数を表示しています。また、この部分をクリックすると、テンキーウィンドウが表示され、任意のページに移動することができます。テンキーウィンドウについては [p.8](#) をご参照ください。

### ④ 目次ボタン

ボタンをクリックすることで、デジタル教科書の目次ページに移動できます。



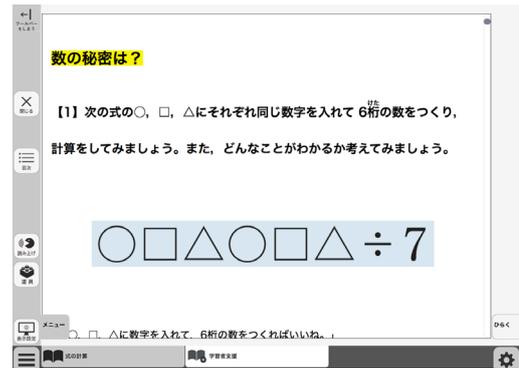
## ⑤ 読み上げボタン

読み上げボタンをクリックすると、読み上げツールバーが表示されます。

### ●読み上げツールバー



④再生: ボタンをクリックすると、選択中の文字を朗読します。画面上でクリックした部分が選択している文字となり、色がついて表示されます。また、音声再生中はボタンが一時停止ボタンに変わります。



※再生ボタンをクリックしなくても、画面の文字を直接クリックすることでも音声は再生されます。

※本機能の音声は機械音声になるため、ご利用のパソコンやOSなどの環境で発音や声色などが異なります。

⑧前の文: ボタンをクリックすると、選択中の前の文を読み上げます。ただし、単元最初の文を選択中にこのボタンをクリックしても音声は再生されません。

⑨次の文: ボタンをクリックすると、選択中の次の文を読み上げます。単元最後の文を選択中にこのボタンをクリックすると、単元最初の音声が再生されます。

⑩はじめから: ボタンをクリックすると、選択が解除され、画面表示が単元の最初に移動します。

⑪自動再生: クリックするとボタンが白黒反転します。この状態で再生ボタンまたは任意の文をクリックすることで、その部分から末尾まで自動で音声再生されます。音声再生中は④の再生ボタンが一時停止ボタンに変わるので、ボタンをクリックすることで音声再生を止めることができます。

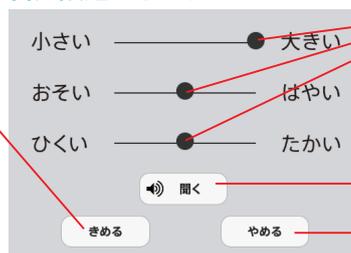


◀自動再生オン

⑫音声設定: ボタンをクリックすると、音声設定ウィンドウ(下図)が表示され、音声再生の設定を行うことができます。

### 音声設定ウィンドウ

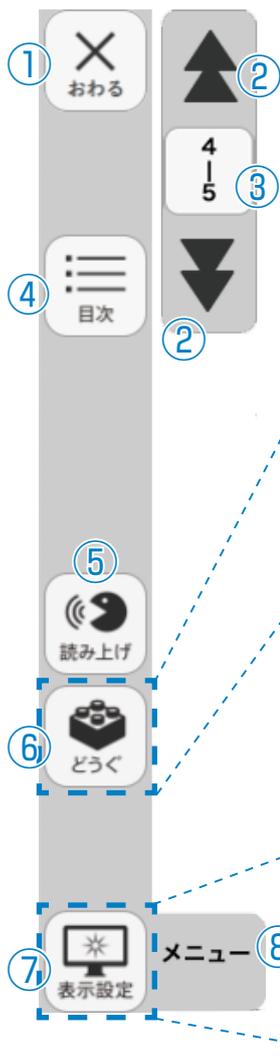
設定した音声を決定します。ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。



スライダーにある●をスライドさせて、それぞれの項目を設定できます。

設定した音声を聞くことができます。

元の画面に戻ります。



## ⑥ どうぐボタン

ボタンをクリックすると、以下のどうぐツールバーが表示されます。

### ● どうぐツールバー



Ⓐ **タイマー**: ボタンをクリックすると、紙面にタイマーが表示されます。タイマーをドラッグ&ドロップすることで、紙面の任意の位置にタイマーを移動できます。タイマーの詳しい使い方は [▶ p.20](#) をご覧ください。



## ⑦ 表示設定ボタン

ボタンをクリックすると、ツールバー下部に表示設定関連ツールパレットが表示されます。

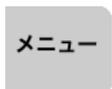
### ● 表示設定関連ツールパレット



Ⓐ **全画面表示**: ボタンをクリックすると、フルスクリーン表示となります。フルスクリーン表示中はボタンが「元に戻すボタン」に変わり、「元に戻すボタン」をクリックすると、フルスクリーン表示は終了します。



◀ フルスクリーン中は「元に戻すボタン」に変わります。



## ⑧ メニュータグ

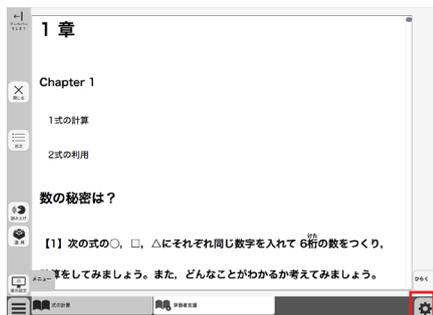
ツールバーを表示/非表示に切り替えることができます。

## ひらくタブについて

ひらく

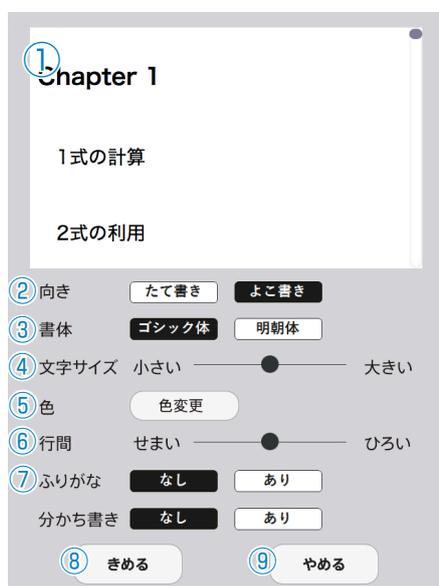
通常の紙面同様に、画面下にひらくタブが設置されています。クリックすることで、ツールバー・ひらくタブがの配置が左右反対側に切り替わります。詳しくは [▶ p.31](#) をご覧ください。

# 学習者支援の環境設定



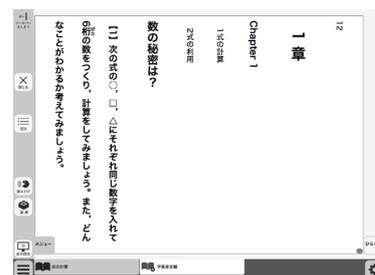
学習者支援の表示設定を行うことができます。ボタンをクリックすると、環境設定メニューが表示されます。

## 環境設定メニュー



① **プレビューウィンドウ**: 現在の設定を表示します。

② **向き**: 文章の向きをたて書き、よこ書きに切り替えます。



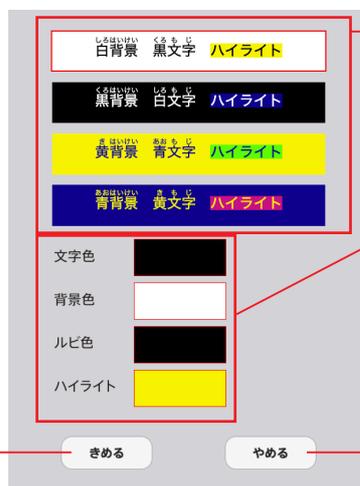
たて書きに設定した画面▶

③ **書体**: 書体を3つの中から選択できます。

④ **文字サイズ**: スライダーにある●をスライドさせることで、文字の大きさを変えることができます。

⑤ **色**: ボタンをクリックすると、色変更ウィンドウが表示されます。各ボタンを押すことで、学習者支援で表示される紙面の色を変更できます。

## 色変更ウィンドウ



各ボタンをクリックすることで、あらかじめ設定された表示に変更することができます。

色の部分をクリックすると、カラー登録ウィンドウが表示され、文字色・背景色・ルビ色・ハイライトの各色を任意に設定できます。カラー登録ウィンドウについては [▶ p.11](#) をご参照ください。

設定した色を決定します。ボタンをクリックすると、環境設定メニューに戻ります。

環境設定メニューに戻ります。

⑥ **行間**: スライダーにある●をスライドさせることで、行間を変えることができます。

⑦ **ふりがな**: ふりがなの表示・非表示を切り替えます。

⑧ **きめる**: 変更した設定を決定します。クリックすると、紙面に戻ります。

⑨ **やめる**: 紙面に戻ります。